

一金十  
勞働週報  
ヶ月分誌代

(但し七、八二ヶ月分は合して一ヶ月の割、九、十月發行の分は一

部五錢の割)

猶ほ此際無産階級の純機關新聞を必要とせらるゝ御誠意の發露として、  
前金もお拂込みの程希望致します。

~~勞働週報の中間週刊十一月七日、廿一日、十二月五日、十九日、  
一月二日、十六日、卅日、二月十三日、廿六日、以後確實週刊。以  
上一部金五錢の割、故に今年七月、八月、九月、十月、十一月、十二月迄  
は一月五錢、三月よりは一ヶ月金貳拾五錢。~~

未筆ながら貴下の御奮闘を祈ると同時に其奮闘の一部分として、御知  
人に勞働週報購読御勸誘下さる事を祈ります。

大正十二年十一月 日

東京市芝區新櫻田町一九  
新事務所 勞働週報 社

電話銀座二〇七七番  
振替東京二七七五二番

柳 報 社

殿

お願い

- (一) 若し計算違ひの際は左様御注意願ひ上げます。
- (二) 今後とも、御寄附御通信をお願ひ致します。